

めだかの学校だより

令和5年2月1日

第118号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一一八回 校長 鈴木 眞弓

日々作品を作っては展示する生活を続けて来ました。

とりとめが無いので昨年1番近くの出来事を思い出して書いてみます。1つは40年ちかく作りためた作品を使つての個展です。2005年に開廊した「ギャラリーCAVE」浜松市助信町の工場を再生した画廊で現代美術の作品が展示されてきた場所です。解体が決まり「最後の展示を」と声を掛けてもらいました。

オーナーで映像美術家の山内啓司氏から「全体を生命体のようなオブジェで包みこむ森のような世界にして欲しい」作品を壁から吊るし床にも広げ立ち上げて映像の光がそのなかを動いた、その場所で1日松田栄子氏

がパフォーマンス「マクラメ、ダンス、映像」のコラボレーション。作家としてこの上ない幸せな時間を過ごしました。

展示作業に半月、搬出に数日。終わってゆっくりとしてたら気が付いた「全部だして無くなったゼロになった」1から作らなければ展示会が出来ない。次の予定は「ちっちゃな文化展」ゼロだから丸で真っ白でと決めて作りだした。

そしたら台風！電車も止まりホテルも満室で動けぬ街中の娘を迎えに行く事にしたが此が判断ミス、道路は冠水していて前の車が頼りで走っていたが家に近づくほど水嵩はまして脱輪して、でもそのお陰でドアから脱出。出たら膝下までの一面の水で道路も田んぼもわからない。

アドレナリンが出るのか元気に腕

組んでワシワシと歩いてたどり着きました。「恐怖は後から」事後処理で書類書いたり送ったり車関係の事務仕事が終わったのが「ちっちゃな文化展」の三日前！皆勤を続けています。やっと終了と思っていたら校長を仰せつかり、文章書いている今は整っていません。

春の良い日を待ちながらまだ落ち着きの無い日々を過ごしています。



めだかの学校伝言板

第118回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／鈴木眞弓

教頭／横山忠志

用務員／鈴木計芳

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎>静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※今回は学舎が「旧豊岡東小学校」から「一宮総合センター」に変わっています。

開校日／令和5年3月4日(土) AM11:30 受付
受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

30期通年テーマ：『めだかの学校30年 さあ これからもいかまい!』

今回のテーマ：《ホップ ステップ おっととと…》

<時間割>

●1時間目 社会

「百均の道具でそばを打つ」松本芳廣先生

●2時間目 理科

「ある農のある風景」伊藤英雄先生

●給食の時間はあります。取り寄せです。

※コロナがまだ収まってません。手洗い、消毒、マスク、検温をして3密は避けて下さい。 PM3:00 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■行って来ました全国各地づくり団体研修交流会長崎大会へ

進ちゃんバラちゃんのふたり旅

『あれ、機体の下に住宅地?』福岡空港は住宅地の中の空港だった。到着は10時45分。JR博多駅には地下鉄で15分ほど。博多駅で長崎までの普通乗車券と特急券の切符を買う。6800円だった。構内でお弁当を買う。11時51分の特急長崎行きに乗る。乗り換えの武雄温泉駅には13時58分に着いた。大会開始は、18時からだから少し時間があるので、海回りの在来線に乗りうと駅員に聞くと、「距離が延びるからプラスチックがかかる」と言う。「なんで、普通切符長崎まで買ってあるのに?」。アホらしくなって停車していた開通したばかりの西九州新幹線に乗る。長崎駅まで70km。30分。途中2つの停車駅もあったが、車窓からは遮音壁とトンネルで、何も見えずのつまらない、速いだけの30分だった。

14時28分長崎駅に到着。おおッ、『一度は来てみたかった長崎!』『想像の翼を広げての長崎!』。長崎駅前には、あちらこちら鉄骨まるだしの、歩道も満足に歩けない工事中!。想像の翼はまさに失速寸前。気を取り直して今日の宿泊の「ルートイン長崎へ」。ここでは「チェックインは4時から」と断られる。荷物だけ預かってもらおう。「平和公園には路面電車で10分ぐらゐ」とのこと。すぐ前の五島駅から平和公

園へ。路面電車はどの区間で降り降りしても160円。多くの人が降り降りして市民のあしとなっている。平和公園では、熊本から来ていた修学旅行の子どもたちの後ろから、祈念像の両手の位置の意味や、原爆で浦上天主堂の2つの塔が吹き飛んだこと、今の天主堂に入館したり、とガイドさんの説明を聞くことができた。時間も17時近くなったので先生と子どもたちにお礼を言っ子供たちと別れて、ルートイン長崎に戻る。チェックインしたあと、全体交流会のある、近くの「サンブリエール長崎」に歩いていく。受付で資料を頂いて会場内へ。県別に指定場所がきまっていた。静岡県は、青森、宮城、福島、栃木、群馬、埼玉、東京、石川、福井の固まりだった。

18時から歓迎セレモニーが始まる。1人の歌姫と20人程の男性合唱団。田村さんがめだかの合唱団をつくりたいというほどの、声量と迫力!なんと合唱団の団長と副団長が同じ分科会とは。続いて主催者挨拶、県知事の歓迎挨拶、来賓挨拶、田上長崎市長の発声で乾杯。そのあと18時15分から19時30分まで4階に会場を移動しての懇談と飲食タイム。全員が一緒に会食ができないため、奇数と、偶数番号の2回に分かれての会食。会場の16のテーブルには長崎和牛や長崎産クロマグロなど、和と洋の料理がメインテーブルとサイドテーブルに並ぶ。時間は35分。

ゆっくり会食懇談交流するのはできなかった。私は先の班で田村さんは後の班。飲食後は、元の3階の全体会場に分科会」とに別れての顔合わせと意見交換。最後は閉会の挨拶と全員での記念撮影があつて20時に閉会、解散。各自それぞれの宿泊場所へ。私たちはルートイン長崎に戻る。

5日(土)朝、私たち第一分科会の集場所である「出島表門橋公園」に歩いて出かける。9時20分ごろ集合場所に行く、昨夜会っていたのでなんとなく顔は分かる。名簿をチェックして、荷物を預ける。「居留地周辺」「眼鏡橋周辺」「長崎駅前周辺」の3班に分かれての、「長崎をさぐる」。田村さんは「眼鏡橋周辺」。私は「長崎駅前周辺」へ。私のところは路面電車で駅前へ。「教会とお寺が隣り同士とか、小学校の一階が貴重な発掘史跡とか、中華街とか、色々な施設の説明を聞いたが、散れじれで思い出すが...。とにかく疲れた。昼食は出島近くのレストランで、食事を摂ったが私達の班が最後だった。

13時30分に国指定史跡、出島和蘭商館跡をガイドの案内で見学する。入口の案内人の老侍が私と同じ82歳。ついつい握手してしまつた。(笑)。ガイドについて色々施設内をのぞいたが、教会の学校だった施設もあったのでぞく。それにしても出島の後ろが埋め立てで地続きとなり、ビルや住宅がびっしり立ち並んでいることには残念でならなかつた。路面電車が通っている道路や施設内との境界線は分かるようになってはいるが...

14時30分から16時30分まで、出島内外クラブ2階で、若いウターンとターンの2人と、長い間町づくりに頑張っているパネラーの3人によるパネルディスカッション。なんとコーディネーターは合唱団の団長さん。うーん、私にとってはパネルディスカッションよりも、長崎の町をもっと「さぐる」してみたかった。昨日の平和公園周辺を子供たちの後ろについて歩いたことの方が良かった気がする。「ごめん、コーディネーターとパネリストのみなき

ん」。

16時50分、出島を出て、歩いて分科会の交流会場で宿泊のホテル「ニューターナダ」に17時に着く。フロントでチェックインして届いていたリュックサックと資料を持って部屋へ。「あれ、私のリュックサックちよつと重くなったみたい」と歩き出したら、「それ私のリュックですー」だって。「ごめん、」あら恥ずかしや。部屋へ行って、資料袋を開けてみたら、「なんでバナナのゴミ?」名札をみれば人違い。その人の部屋番号を聞こうとフロントへ行くと、ちよつとその人が帰ってきたところだった。良かったア。私の資料袋はカウンターの上にあった。ホットして部屋へ戻るとドアが開かない。またフロントへ。「出るとき自動ロックがかかって外からカギをかける」と2重になって開かない」とのこと。18時から交流会。田村さんと声をかけて行こうとしたら、「マスクを忘れた」と田村さん。開けようとしたが開かない。

私と同じことをしたようだ。あやう、田村さんに実演説明したら、私も同じことに。今度はふたりでフロントへ。

いやはやまアである。18時からの交流会には間に合った。この頃には参加者同志の気心も知れて大いに盛り上がった。自己紹介になり、進ちゃん、バラちゃん163歳コンビ。漫才さながらボケとツツコミも良いところ。拍手、拍手で大笑い。「一番良かった」だって。ほんとは真面目にやっていたのにね。(笑)。19時40分終了。

20時からオプションの「夜さぐる」。タクシードに乗り出すと思いきや、タクシードは山の上の鍋冠山展望公園へ。「長崎の夜景と20時半からの打ち上げ花火の見学」だって。打ち上げ花火を待ってる時の

寒かったこと、本当に寒かった。渡された缶ビールやお酒、ウイスキーの意味が分かった。美しい長崎の夜景と30分ほどの花火ショーだった。花火も終わり帰りは、登りとは反対側の薄暗い坂道をいくつかの施設の説明を聞きながら下る。あれ、公道の真ん中に建物？5mほどエレベーターで下へ。なんと公道にエレベーターが着いていた。なるほど長崎は坂の町だ。前方に、ライトアップされた『大浦天主堂』。一瞬息がとまる。天主堂の前でガイドの説明を聞きながら空を見上げると大浦天主堂の塔の先端のところに月が…。偶然とはいえ『神々しい情景』がかもしだされていた。皆が息をとめて見とれていた素晴らしい時間だった。

21時半ごろホテルへ戻る。田村さん、先頭をきつてヤーヤーと氣勢をあげてやるねえ。(笑)。みんなでヤーヤー。いや、楽しかったね。最後は一本締めで締める。

6日朝、トイレでふんばっていると田村さんから電話があるが「先に行つて、すぐに行くから…」と。忘れ物がないか再度部屋を確認。フロント行くと、みんなが新聞を見ている。昨日の記事が載っていた。スマホに収める。みんなが集まったところでタクシーに分乗して全体会の会場へ。10時から始まる。関係者の歓迎挨拶のあと、13の分科会会場から5分づつの発表。五島や対馬など離島の分科会はリモートで。参加者が少なかった分科会の発表者の悔しそうな顔が印象に残っている。

次回、開催地島根県のPRがあつて、12時すぎに閉会。そのあと、私たちは駅構内の土産店をぶらぶらする。私たちが長崎駅を後にする。二

人合わせて163歳の楽しい弥次喜多の旅だった。(バラメダカ)

■全国まちづくりの日程が決まりました

第19回全国まちづくり交流会は、鹿児島県与論島で、6月16日(金)～18日(日)で開催することになりました。内容については後日お知らせします。また来年は四国の勝浦町を予定しています。次回については北海道でも手を上げていますので、引き続き開催していく予定です、とのこと。

■使用済切手ありがとう!

昨年10月22日に、ちっちゃな文化展にいった折、掛川市の鳥山剛メダカから使用済み切手を預かりました。なんと2キロ。大日本報徳社やJA夢咲大須賀支店、大須賀図書館、サンサンファームの皆さんが集めて下さったとのこと。ありがとうございます。この使用済み切手は静岡県ボランティア協会へ送ります。担当の方の話だと、換金して永年交流のあるタイの象を救うため、象の好きな木の苗木の購入や植林などに使うとのこと。役に立てることができて嬉しいですね。

■和の奏うたら磐田公演

磐田市見附宿に伝わる謡曲「舞車」は、親に仲を割かれた男女が、見附宿祇園祭で再会するという恋の物語です。20回を数えた地域興しの一大イベント「いわた大祭り 遠州大名行列・舞車」でも再現されており、広く市民に親しまれています。

私が主宰する「和の奏うたら」では、「愛と折りの舞車」と題し、語りと演奏と舞を加えた舞台芸術作品として完成させました。この度、磐田市民文化会館・かたりありホールサル室(小ホール扱い)になつていま

す)にて初演を迎える運びとなりました。地域に伝わる伝統芸能と、新たな芸術を融合させた本作品は、郷土愛を様々な世代に伝え深めていく意味でも、私が目指す地域興しのひとつのカタチでもあり、実を結ぶことが本当に嬉しいです。

演奏は、磐田市出身のピアノスト袴田麻純さん、同じく磐田市出身の箏曲家、鈴木紀恵子さんを中心に、三味線、即興舞、そして私の語りとで、目にも耳にも華やかに表演します。みなさんお誘い合わせの上、是非お出掛けください。

◆和の奏うたら磐田公演◆3月12日(日)午後2時開演、事前予約三千元、当日三千三百円、申込は埋田メダカまで。080-3622-4974

追伸：公演会場を予約した8月のある日、かたりありホールで偶然バラさんと遭遇し記念写真をパチリ。(埋田千聡メダカ)



■鈴木正士郎「お茶摘みコンサート」

磐田市大平の鈴木正士郎での「お茶摘みコンサート」日程が、4月22日(土)です。従来より1週間早くなりました。会費は3000円(食事付)。問合せは、鈴木正士メダカ、090-8964-9101へ。

『人・ひと・ヒト…だより』



●藤枝市の小嶋良之メダカ。今回の言葉は、昨年8月に逝去された京セラ創業者の稲盛和夫さんの「6つの精神」の一節『生きていること、いや、生かされていることに感謝し、幸せを感じる心によって、人生を豊かで潤いのあるすばらしいものに変えていくことができる』と私は信じています。』

―静岡に稲盛塾を結成した時、事務局を務めた縁で稲盛さんと出会って以来、私の師となりました。だって。相変わらず地域情報誌「むるぶ」の編集長と、毎週放送のFM島田の「共立情報ランチ」のパーソナリティを務めている。』とも。俳誌「青群」(年2回発行)の発行人もやっている。俳句楽しいですよ。めだかの学校にも何人かの俳人？がいるよ。

●森町の村松達雄メダカ。昨年は森の夢づくり大学で教授になり、郷土の歴史についてお話をさせていただきました。12月には明治39年に発行され絶版になっている本をもとに「訳注静岡県報徳社事蹟」をクラウドファンディングの力を借りて出版、歴史を繋ぎました。父は92才、母は90才となり、二人とも元気に暮らしています。私も父母を見守りながらも少し頑張りたいと思います。だって。台風で倒

壊した天宮神社一の鳥居の再建された見事な明神鳥居写真とともに。まさにいい鳥居だね。

●浜松市細江町の上嶋裕志メダカ。小引佐は姫街道の中でも引佐細江(浜名湖の入り江)の景勝の地として知られています。これから引佐峠を超えて西に向かう旅人が、峠越えの無事を道祖神やお地藏様に祈り、また引佐峠を超えてきた旅人は難路の無事を感じて、「ここで一息入れて景色を楽しんだことでしょうか。姫街道を通った天璋院篤姫も、ここから見る湖(引佐細江)の景色の素晴らしさに感動したことでしょうか。その時の情景の切り絵とともに。昨年11月で民生委員も終わりました。今年はまだかの学校に出ます、だって。小引佐の風景いいねえ。天宮神社の、一の鳥居と小引佐。見る価値は十分くちよと足をのびして：歴史をのぞいて見るのもいいものですぞ！、ハイ。

●森町の榊原淑友メダカ。正月に孫の顔を見ながら雑煮を食べられる、こんな当たり前のことがいかに有り難いか実感しています。海外の人達から見れば世界一平和で物価が安く生活しやすい日本は、平和ボケのままではないのでしょうか？韓国人の哲学者のI・ジェスさんが、世界を救うのは「日本の和の心だ」と言っています。そして私がたどり着いたのが飛鳥新社発行の「日本語が世界を平和にするだけの理由」金谷武洋著でした。この本を早く知っていたら私の人生ももっと変わっていたように感じます。日本は資源がありません。資源のない日本の大切な資産は海と山に囲まれた国土と世界をリード出来る人材を育てることではないでしょうか、だって。いつもめだかで元気をもらっています、とも。文章では前の方を端折っていますが、あなたはどお思いますか？そうだ、金谷武

洋さんの本を読んでみよう。きつとヒントが見つかるかも。ですね。

●袋井市の大場敬子メダカ。昨年は、安倍元総理の暗殺、ロシア・ウクライナ紛争、米中間選挙など、世界中を様々なことがありなっていました。共通点はどれも真相が明らかになっていないことです。また地震、大寒波など、地球規模で起こっている災害は、自然災害ではなく、天災(天意によるもの)だと思えます。ディープステイト・陰謀論として片付けられてきたことも明るみに出ています。今日、世界も日本も、滅亡の危機に瀕しています。こうした状況は、人類が天意に適った行動をとらない限り、今年も続くでしょう。1人でも多くの人が少しでも早く、真実に目覚めることを祈ります、だって。いつもめだかありがとうございます。今年はずりずりの給食を食べられますこと期待しちやいます、とも。足元をみつめつつ、世界的な意識をもとう！。今からでも遅くない。

●小田原市の溝口久メダカ。小田原に転居してから1年が過ぎたところです。住むところが変わると出会う人が変わっています。市内在住で元ソニー執行役員の葦宮さんから著書「まちおこしは総力戦を挑め！」の帯書きを頼まれ、「小田原街中映画館プロジェクト」にも参画しています。日刊紙「日経グローバル」からは、政策請負人として紹介され、現在6連載を執筆中です。仕事では、茨城県境町参与、福岡県築上町地域アドバイザー、神奈川県松田町官民連携担当を務めている、だって。実力派若手庭師の施工による玄関、リビングから見える茶庭。そして小生デザインの和室広縁から望む石庭の大改造した庭の写真とともに。様子見にどうぞ、とのこと。いいねえ、最高だね。バスを連ねて見学はど

う？手打ちそばも出るヨ。(笑)。

●浜松市引佐町の石野省三メダカ。母親(97才)の介護(いい加減な)で気づけば今年には母親と同じ後期高齢者だ。次回の免許更新は受講がある。新しいことに挑む年になる。正月の子どもになって見たき哉(小林一茶)：記憶をたどると、小学校時代の元日には朝登校し新年のあいさつを交わし、紅白の饅頭をいただいた。帰宅してからは雑煮を食べ、お年玉をいただいた。地域の仲間と正月遊びに興じた。新しい年の始まりが幸せと新鮮さに包まれていたのを感じている。正月の子どもになり目標を立ててみた。後期高齢者となる今年、「百喜一憂」、感動、感謝多き事の実践を目指します。基本として1日1回人と話す。1日10回笑う。1日百回の深呼吸をする。ことで目標達成を目指す。

●袋井市の竹野昇メダカ。幸いにも気持ち、心の若さはこれまでと変わりません。年齢的には後期高齢者に属しますが、精神は60代です。互いに元気で、仕事や家事を含め、やるべきこと、やりたいことができるのは最大の幸せですね。今年の課題は、議員活動をさらに拡大、沖縄辺野古座り込み参加、日本軍の慰安婦にされた方に会う(韓国訪問)、福島原発被災地訪問、中村哲医師その後アフガニスタン写真展と3月伊藤和也さん写真展(磐田市でもやります)、5月3日前川喜平氏講演会、地域の高齢者支援のための組織づくり、反原発・再生可能エネルギー促進、5月朝鮮通信使友情ウォーク歓迎受入れなど多岐に上ります。今年は何だかの学校にでたいです！ね。でも無理は禁物ですよ。ご自愛下さいね。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。「さざれ石」の写真と共に。国家「君が代」歌詞中

の「さざれ石」です。トク「君が代は千代に八千代に『さざれ石』の巖となりて苔のむすまで」。※世界に類例を見ない、日本人の節度と誇りの国家です。大小の小石・砂石(草莽・民草)が一つになれば、やがて強固な岩石のように、未来永劫に平穏な国家が約束される。「さざれ石」を、静岡市で新たな探掘を見つけた。だって。うーん、さすが地域活性化戦略研究所所長。国家を語る。エーッ、残された時間を価値あるものにしたと榊原さんを見習います。師匠と呼ばせて下さい、と。これをみた妻の明美さん、プーッと吹き出した。(笑)。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。年賀新聞1月1日号。人生の楽園は小さくても ささやかでも良い。育てたい自分の楽園。故障を連発する身体の機能、良き友に支えられてきました。が、作業機のコントロールに危険が伴い廃業としました。永年のご支援ご愛顧有難うございました。農業を廃業しました、だって。いやー英ちゃん農園には、めだかの学校の給食の食材、大変お世話になりました。今はコロナの関係で、給食は取り寄せとなっています。もうひとつ紙面には、『不戦の誓い』憲法第九条、戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段として、永久にこれを放棄する。戦争とは国対国の殺人行為、虐殺、強奪行為だ。どんな結果であろうとも子孫代々まで怨根を残す。絶対にダメだ、とも。こちらはあなたはどう思いますか？。今の日本の流れは：デスヨ。ハイ。

●浜松市引佐町の大谷義房メダカ。祝新年元旦新聞「新年特別号」。近況報告「新年あける!!」本年は地方統一選挙の年。少子高齢化の進む直虎の町にとつて最良の道を選択するチャンス、火の粉を払って前に進もう、だって。そうだね、浜松市は現市

長の鈴木康友さんが3期を以って退任するもんね。とにかく投票のある選挙区のみなさん、投票に行きましょう！

●浜松市の鈴木亜繪美メダカ。東京から静岡に移って12年。磐田市の実家を整理し浜松に移って2年…。まだまだ整理に試行錯誤の日々ですが、今年は思い切ってウサギのようにジャンプ！和紙アートなど創作活動に力を入れ、飛躍の年にしたい。ライター業もなんとか続けています、だっていや〜いいねえうさぎ年は。みんな飛躍の年に！と頑張っている。私は龍の横歩きでございませう。ハイ。

●磐田市の大島たまメダカ。うさぎの鳥獣戯画の模写絵に、昨年は1日の目標8千歩、ほぼ8割達成！。健康づくりの為、今年はどうな目標をたてるか思案中です、だって。無理せず今年も1万歩。11月にはジュビロマラソンがある、参加はどう？。私は5千歩〜8千歩。浜北の県立森林公園の山の中を歩いている。

●愛知県長久手市の横田浩臣メダカ。80歳となり、体内のあらゆるところで老化を感じるようになり、パソコンキーボードの打ち間違いが多くなりました。3歳年下の私の好きな作家池澤夏樹も、どこかでそんなことをつぶやいていました。老化に抗するために、毎朝ラジオ体操とウォーキング。月に7〜8回も里山整備ボランティア活動で身体を動かしながら楽しんでます。退職後に始めたいくつかのボランティア活動を「里山」をキーワードにまとめ始めました。時系列に並べると、自分の記憶と相対的な時間の齟齬があり、記憶の中では自分勝手な時計が使われているなと感じているこの頃、だって。イノシシに荒らされ、収穫が4分の1ほどになった田んぼの写真とともに。いや〜イノちゃんも凄いが、横田ちゃんもまだまだでございませう、ハ

イ。

●千葉県習志野市の市原実メダカ。私は80歳。妻と高齢化のまっただ中、そろそろこの辺りが切りが良いかと思えます。そこで来年から年賀状は遠慮させていただきます。ここに過去50年間の年賀状の題材を残記してみます、と。凄〜い！。1972年「正月の呼び方いろいろ」1973年「おせち料理のいわれ」1974年「元旦の晴天率調査結果」1975年「お年玉付き年賀状の景品」1993年「年賀状地方版の発行の紹介」1994年「初日の出」2021年「くじ付き年賀はがきの景品の返還」2022年「教訓カレンダーの元旦掲載」〜。ほとんど割愛してしまいました。さすがです。11月4日〜6日まで長崎で開催された全国地域づくり団体研修交流会の最終日の全体会の会場でお会いして共にびっくり。昔、長崎市で勤務した時の思い出の場所だった、だって。

●袋井市の松本芳廣メダカ。20数年続けてきたサトウキビ栽培のお手伝いは引退しましたが、お陰様で家庭菜園や里山整備活動のほか、そば打ち講座などに忙しい毎日をご一緒しております、だって。マッチャんのそば食べた〜い！。めだかの学校で、そば講座&食べる会やろうか？。新型コロナウイルスがまた感染拡大しているからムリかなア〜。

●浜松市の手創り工房 和の森の藤田吉恭メダカ。小さな赤い座布団にかわいいウサギちゃんの小ものの写真に、今年も力作です。手創り品がいっぱいかも。新ホームページ：<https://wanomori.or.jp>見てね。

●磐田市の富田久美子メダカ。切株の上にお母さんうさぎがつくったケーキ。召し上がれ！2匹の子うさぎがうれしそうな笑顔の絵と共に。①人生のまさか！ 一歩一

歩登ります。②赤ちゃんとママの世界がもしろくなってきました。楽しい時間をつくっていきます。(あれ？ 私の心の内：話しちゃった)だって。おやおやアアでございませう。でも4月から子ども家庭庁ができます。どんな声をあげて〜ですヨ。

●磐田市の鈴木祐之メダカ。版面いっぱい嬉しい茶色基調のうさぎの顔、力強さが満面に。今年も遅刻してもめげずに出席しますね、だって。磐田駅前の薬剤店の店主。お客さんの信頼もいいですヨ。薬のことなら相談にのってくれます。先ずはお電話を！0538・33・0550アース薬局です、ハイ。

●浜松市の中村明男メダカ。おツ、粋な若衆の半天姿、墨一色の風揚げ版画。いつになっても好奇心、夢は持ち続けます。新たなフォーク音楽祭準備中だって。ワッショイワッショイ、オー。まだまだ行くぞ、若いもんには負けられん。ナンチャッテ、ですね。

●森町の太田康雄メダカ。モスグリーンの色あいに白抜きの飛びはねるうさぎたちの版画。今年も森町は躍動の年に！町長さんの思いがたつぷり詰まってる。いいねえ。※三者三様、版画に挑戦の3メダカを並べました。どうぞ創造の翼を広げて〜。

●浜松市の藤波公子メダカ。『はつ春や喜寿むかえる としとなり』ひととせもふたとせも、ひたすら前むいて まじめだけごとりえのわたし、ことしもよろしくお願ひします。アツというまにきじゆ、だって。喜の草体は 蛙、そう7歳です。まだまだ身体をいたわりつつ前を向いてデスね。めだかの学校、登校できなくても『出席してま〜す』と3000円送ってくれました。感謝!!。

●島田市の池谷俊裕メダカ。癌の手術後、他への転移は心配していましたが、今の

ところ認められずやれやれ！しかし新たに別のところに発生する可能性あり、早期発見につとめるしかありません、だって。そうだね、なんでも早期発見が大切だね。ストレッチも発散して前に向いてだね。確か以前、田邊哲メダカが、ガンのことをボンと言って笑わせたっけ(笑)

●浜松市の白尾惻メダカ。オツ、甲冑をつけたうさぎちゃんの絵。「どうする家康」にあやかっただけかなア。「起きたけど、寝るまでとくに用もなし」ではなく、今年も忙しくしていこう！だって。やるねえ〜川柳だよ(笑)。

●森町の天野智加志メダカ。こちらは俳句、煎茶を詠む。七句のうち三句。「手のうちは煎茶茶碗 蝶あそぶ」「囀に点前やらぐ 献茶祭」「清風を 汲むギヤマンの煎茶碗」〜茶席がぐはし天野慧舟。さすがお茶の師匠。お茶の俳句にも熱が入る。めだかの学校が一宮総合センターで実施できてうれしい限りです、だって。

●静岡市のサロン「ここにいこ」の西島朋子メダカ。地域活性化・高齢化問題と関心が広がる一方で、自分の体力と照らし合わせ、現実を見つめながら無理はほどほどに平穏な一年を過ごしたいと願います。毎回の榊原さんの一筆せん、あれが語り掛けてくるから、めだかの学校やめられないヨ、だって。あらあら嬉しい限りでございませう(笑)。

●磐田市の大杉昌弘メダカ。私も昨年は結婚し、新しい人生を歩み始めました。力を合わせて温かい家庭を築いていきたいと思えます。みつめ合う、笑顔の写真入りますヨ。おめでどう！久々にめだかの学校に参加したい、だって。どうぞふたりで参加してね。会費はひとり分がいいから(笑)。

●浜松市春野町の尾上美智子メダカ。めだ

かの学校に入らせて頂いたから、多くの方たちに出会えました。歌って笑ってきりから人生送りませ、だって。第117回の音楽の授業面白かった。歌って笑ってきりから人生、でした。

●磐田市の多田華メダカ。こちらは1歳9カ月の百花草ちゃん。頭にうさぎ草ちゃんの顔の帽子がついた。ピンクのお洋服に元氣いっぱい、おしゃべりも上手になりました。子どものパワーには驚かされる日々です。バラさん、お元気で！だって。いや、百花草ちゃん、お母さんとめだかの学校に登校できる日が楽しみだね。待つてまゝす(笑)。

●浜松市の水村春江メダカ。「松風の能の舞台や 紅葉舞う」「生業も 半世紀なり 初御空」の2句に、娘志穂ちゃんの写真と共に、『新たな分野に挑戦します。命の鼓動に感じつつ!!』だって。『欠席ばかりで申し訳ありません。退学処分にならないでね』とも。老いて益々凄く、私と一つしか違わないのに、マイツタね(笑)。

●埼玉県草加市の藤田久枝メダカ。先日は久しぶりの登校に、ワクワク楽しかったです。バラさんも明美さんも、今年もワクワクする事が沢山起きて、年をとることも忘れてお互いに脳トレをして、健康寿命を延ばしましょう!!だって。うん脳トレね、なんでもいいから好奇心をもってやることだね、ハイ。

●浜松市の水島加寿代メダカ。かわいらしいうさぎ草ちゃんの絵に、旧年中は母までお世話になりました。今年もお願ひします。総合センターの階段は大変だけど、人間エスカレーターがあるからだいじょうぶです。藤田メダカではないけど、それこそワクワクしちゃうたりして、しずさんチャームングだもんね。(笑)。

●掛川市の横山忠志メダカ。第118回の教頭先生、めだか協力で協力させていただきませ、だって。いやいや脇でなくて、ど真ん中で。早速ですが人間エスカレーター役があります。良かったね。しずさん(笑)。

●磐田市の秋山勝則メダカ。昨年は台風により多くの課題を頂きました。豊岡が磐田市がしっかり前に進むよう全力投球していきます、だって。台風15号の時は本当にご苦労さまでした。まだまだ被災地は土嚢などで仮止め。これからも頼みます。第117回の授業の先生もありがとう!

●青森県弘前市の鈴木琢真メダカ。お元氣ですか?。昨年の豪雨の際はお気遣いいただきありがとうございました。磐田の方も大雨で大変でしたね。こちら青森に来て2年目の冬を迎えることができました。毎日雪で、遠州の太陽と空つ風がなつかしいです、だって。十和田湖にて親子3人の写真と共に。テレビで大雪の状況を見ると、雪国の人たちの逞しさが垣間みえますが、がんばつてね!

●松戸市の滝川徹メダカ。うんざりコロナ、ロシアのウクライナ侵攻、値上がり、原発回帰、いろいろあるけど何とかなるさ!。昨年は久しぶりに手賀沼ハーフマラソンを走りましたが、今年も仕事と遊びに自然体で取り組むつもりです、だって。また会いたいね。毎日新聞浜松支局長の時代がつかしいね。

●磐田市の山下安範メダカ。コロナウイルスに振り回され普通の生活が戻らない新年を迎えました。昨年には長野のパワースポット善光寺詣の旅を行い、見事な紅葉を鑑賞することができました。(全国旅行支援のクーポンも利用して!)。今年も普通の生活が戻るように願ひつつ、健康で過ごす1年にしたい、だって。今年も割引が縮小されたけど、1月10日から全国旅行

支援が再開されたね。気分を変えて旅行へ行こう!。ただコロナ感染には気をつけて。●新城市の清水良文メダカ。仕事では新城市自然エネルギー(株)の役員や奥三河ビジョンフォーラムの理事、愛知大学地域政策部非常勤講師7年、リコーダー合奏グループ「パルネロ・ムジック・コンソート」

結成して41年、合唱劇「カネット」は新城市公演から21年、熱気球は愛知大学時代愛好会「でんでん虫」を設立して46年、ブ口和太鼓「志多ら」を応援して33年、NPO法人「てほへ」を設立して13年など。今年の目標は、各種活動のたみかた勉強?。家庭では孫3人、奥さんはリコーダー(パルネロ)& amp; フルート(ほうらい吹奏楽団)で頑張っている。めだかの学校欠席ばかりですみません、だって。活動の幅も凄く、い!。まだまだたまたまそれうもないね。(笑)。めだかの学校には、フルート奏者も、ギターもピアノも。それにリコーダー奏者が加わって合奏団ができそうだね。磐田市民会館「かたりや」の小ホール、いいヨ。そうすれば、めだかの学校登校できるかも。(笑)。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。昨今、世の中腹立たしい事満載ですが、私たちは今年もめげずに、お茶や果実の加工、クラフトテープの籠作りに頑張つて行きます、だって。ひろ子さんとの縁側カフェ、ほっこり笑顔、いいですねえ。

●磐田市の大久保陽メダカ。85歳。要介護1。近くのデイサービス(レッツリハビリ)に週2日通っています。また地域の老人会、20年続けています。オーブンガーデンは、チューリップが4月1日、4月10日、アジサイが6月1日から6月25日まで。お待ちしています。と。また種々の事情により年賀状の交換は今年で終了しま

す。永年にわたりありがとうございます、だって。オーブンガーデン、素晴らしいですヨ。ぜひ訪ねて下さいね。電話は080・3649・3427です。

●浜松市の鈴木偉代メダカ。コロナで行動もままならない日々でしたが、年末に富士宮に行くことができました。柚野も少しづつ変化していました。浜松に戻って10年以上たちましたが、温かく迎えてくれる人たちがいてくださることに感謝です。ウクライナを始め世界では紛争が絶えません。自分とは違う相手を認めることの大切さを思います。ワイワイいながらお弁当を作りたいです!。年末2回目のコロナのクラスター発生。いつになったら落ち着くでしょうね。国ではwithコロナの方向に進めるようだね。それにしても昔の職場の人に暖かく迎えられる良かったね。富士山の写真もいいなあ。

●浜松市の古橋利雄メダカ。腰痛治療の名医を紹介します。と。腰と背中や腿まで慢性的に痛み、座骨神経痛と言われ、好きな釣りにも行く気になれず、後期高齢者だから仕方が無いと諦めリタイアを覚悟しましたが、昨年盆休みに下記の病院で診察、腰部脊柱すべり症の手術を受け、痛みからスッキリ解放されて1週間で退院し、翌日からコルセットをして現場復帰。3ヶ月後の検診でコルセットも外れ、爽快な日常に戻れました。腰痛で辛い思いをしている方々に、幸せな日常を取り戻して頂きたいとの思いから、お年玉代わりの情報を差し上げます。ご笑納ください。だって。病院の名称は、稲波脊柱関節病院(脊柱・頸椎・関節専門医)住所:品川区東品川3の17の5 電話:03・34500・1773

腰痛でお悩みの方、ぜひ電話してみたら。あなたの人生バラ色になるかも。実践者語るだヨね。

腰痛でお悩みの方、ぜひ電話してみたら。あなたの人生バラ色になるかも。実践者語るだヨね。

●浜松市の今井生正メダカ。飛び跳る初夢GO!汚染・化学物質ゼロの《水》と《野菜スープ》で、地球と人が健康になる暮らしの実験『2023健康元年』。汚染成分だけを除去し、自然水質の水に戻します。やはり行き着くところは水でした。今年是非(私の造った浄水器の水)水とスープを飲んでください。ホツとします、だって。佐鳴湖の水を使って野点をしたのは、めだかの学校の初期の頃だから29年前くらいかなア。水にこだわり続けて今も。いや、頑張ってるねえ。

●浜松市の第55回校長の池田誠二郎メダカ。目の前の景色をゆったりできる年にしたいと思いません、だって。『而今』今を生きて、デスね。以前教えていただいた、ドレミファソのソの音階の音が、人の耳に心地よく聞こえるとのこと、今も時々やります。『ドレミファソ』おはようございます。にこっ」と声かけする。気分がいいですヨ(笑)。

●群馬県南牧村の松林建メダカ。かわいらしい寿の打ち出の小槌を持ったうさぎさん。「いいことたくさんおとずれますように」の絵に、今年もめだかの学校に登校します!よろしく願います、だって。第117回めだかの学校授業風景をFBで発信してくれました。嬉しいね。

●掛川の鳥山剛メダカ。めだか生の本島慎一郎メダカや鈴木正士メダカが大日本報徳社の社員になりました、だって。村松達雄メダカや原邦司メダカ、今村純子メダカら何人かのめだか生も社員になっていきますね。村松達雄メダカのように講師になった人も。

●掛川市の杉浦清司元メダカ。昨年は1200キロの距離を飛び、驚異の渡り蝶「アサギマダラ」が我が家の農園に飛来!。「鬼滅の刃」やNHK連続ドラマ小説「ちむど

んどん」にも登場しました。区の役員をさせて頂きましたので、地域をPRする動画(つばめが見たふるさと掛川三井の歳時記)もつくり、YouTubeにもアップしました。QRコードか(三井の歳時記)で検索してみてください。まだまだ続く、終わりの見えないコロナの試練に精一杯向き合って、感謝のこころで人を思いやり、優しい自分でありたい、だって。アサギマダラの写真と共に。私のところにも毎年来ていたのに、昨年はフジバカマを移植して良くなかったのでダメでした。鳥山さんに教えてもらったのにねえ。

●浜松市の松本泰榮メダカ。松と梅と竹と鶴とうさぎを色筆で書いて、おめでとうございます。お変りないですか?だって。お正月にまつもとちゃんのおモチが食べられなくなつて久しい。あの味が忘れられない。まためだかの学校にも顔出して!三ツ子同級生もいるでヨ(笑)。

●静岡市の鈴木芳徳元メダカ。日常を全力でつくる!。元静岡新聞記者で、新しく静岡市に出来た歴史博物館に異動して広報を担当しています。学芸が忙しいのでカバーしたりして、だんだん何でも屋になりつつ、立ち上げの企画全体を楽しんでいます、だって。静岡新聞日曜版週間YOMOっと静岡の「街なか自然探検隊」のコーナーで、野草や昆虫の生態を、子供向けの記事を書いている。1月15日号はホトケノザでした。春野七草のホトケノザとは違いますヨね。こちらは蜜は吸えるけど食べられません、デスね。

●飯田市の長谷川三弘メダカ。大きく左右に枝を張った初代の山本勘助『物見の松』(ジタジタ松ともいう)の写真と三代目の一本松の写真。初代は昭和19年12月7日に発生した東南海地震(MG7)で倒壊、松根油に。写真を見ただけでも素晴らしい松

だったようです。三代目は平成29年(2017)6月4日に植樹。卒寿で新春を迎えました。三遠南信道の開通が待たれます。ことしもメダカの活躍を期待しています、だって。三遠南信道が開通すれば上久堅とは、ひとつ飛びなのね。ちよつとムリかなあ(笑)。1時間そこそこいでけるようになるね。

●長野県高森町の橋都秀子メダカ。かわいらしいおモチつきのおさぎちゃんに、古稀になりました。あと十年頑張れるかな、だって。デコ果樹園がある限り、まだまだ頑張ってくださいヨ。三遠南信道が開通すれば以前来た時と同じように軽トラで(笑)。

●浜松市(自宅は掛川)の東海まちづくり研究所の社長で、NPO法人地域づくりサポーターネット代表理事の山内秀彦元メダカ。ぐるっと浜名湖のサイクルツーリズムの主催者としてみんなをひっぱっている。浜名湖の環境問題にも関わり、また三遠南信住民ネットワークの役員としても活躍している。いや、できる人は違うねえ。(笑) よろしく頼みますね。

●焼津市の平山静代さん。初代校長故平山豊メダカの奥さん。お元気ですか?私は80才になりました。今のところ身体の不調もなく、日々楽しんでおります、だって。お元気で嬉しいですね。こちらも元気でいなくちゃあね。

●藤枝市の横山貴代美さん。第82回校長の故横山浩史メダカの奥さん。昨年も通信をお送りいただき感謝申し上げます。今年もお身体を大切に、充実した活動ができれば、さようお祈り申し上げます、だって。こちらこそ、いつもお手紙をいただいております、ごめんです。これからも楽しんでやっています。

●豊田市足助町の佐久間章郎さん。今年

遂に後期高齢者の仲間入り。運転免許証更新には認知症検査があるそうですが...。今年の全国大会の与論島には頑張って参加するつもりです、だって。淋しいけど私はいけそうにないなア。来年は四国の勝浦町だよ。その次は北海道も手を上げているとか、めだかの学校も手を上げたりして...。叱られそう。(笑)

《新入生紹介》

●磐田市の小野里美メダカ。故小野泰弘メダカの奥様で、「主人が大好きだっためだかの学校に私も入校したい」と入校してくれました。自然環境、生きものの保全など、生物の多様性を守ることに興味があり、また音楽を聴くこと、歌うこと、映画を観ることが大好き、だって。申込書といっしょに84円の切手30枚も寄付してくれました。感謝!

××× ×××

今回は多くの人から年賀状をいただき、人ひとヒトだよりに載せました。と言う訳もあって8頁建てになりました。年賀状には写真や絵のものも多かったのでコメントをつけました。想像の翼を広げてください。最初にも書きましたが、またFBには、何人かのめだか生が新年のメッセージを寄りました。ごめんです。(事務局 パラ)

※お知らせ
今回のめだか春秋はお休みします。

■事務局だより

2月に入り梅の花がポチポチ咲き始めました。今年は「うさぎ年」。みなさんからの年賀状にはぴよんぴよんのうさぎの絵が多かったです。前を向いて笑顔でぴよんぴよんぴよんですね。それにしてもコロナの元氣さには困ったものですね。国ではウィズコロナへとカジを切りつつありますね。そう、コロナも風邪も同じ扱いに。さて、第117回めだかの学校は12月3日(土)に学舎を、久しぶりに一宮総合センターに戻して行うことができました。校長は宮澤博行、教頭大島たまよ、用務員八木義弘。授業の開催時間が10分ほど遅れましたが、息もぴったり。校歌斉唱では、石野裕子先生のキーボードと、八木用務員のハーモニカとの合奏。新入生紹介は、群馬県から入校の松林建メダカ。かがり火の取材スタッフでメカにも強く、なんと翌日には今回の授業風景をFBで発信していました。早々！。給食は対面形式で、今回は「釜めし」。コロナ感染に気を使いなから：やっぱり対面はいいね。開始時間の10分遅れは給食の時間で調整。校長訓話時間は時間割通りで、宮澤博行校長。登校する前に、ふるさと龍山(浜松市天竜区龍山)のイベントに出掛けて来たこともあって、ふるさとの民話を語る。事務局からは長崎で開催された全国地域づくり団体研修交流会のこと、「めだかの学校便り」を充実させたいので年賀状にコメントをつけてください。8頁建てにします、と。



授業は、1時間目、社会、秋山勝則先生「九死に一生、あなたならどうする」。9月23日の夜から24日早暁までの豊岡地区

の台風15号の被害状況をプロジェクトを使って話す。多くの写真を使つての説明に身もすくむところも。水没した車から命からがら退出した実体験があるだけになおさらだ。特に川の上流からの流木の凄さ。山の管理の大切さを思う。もう少し時間が欲しかったかな。



2時間目は音楽、石野裕子先生「ゆうころん&うめちゃん」「うたこえ喫茶」風に歌集を配つて。始めは「笑いヨガ」、大きな声で「大笑い」。次は裕子先生オリジナルの『きらきら人生』、みんなで♪うたつて♪笑つて♪両手指を額の横で振り回しながら♪きらきら。歌曲の中味は裕子先生が歌う。歌いたい歌を生徒の中から「切手のない贈り物」「学生時代」「四季の歌」などみんな5曲ほど合唱。マスクをしての合唱だったが良かった。年4回のうち1回は歌の時間にしようかな、と思つたりして。



14時40分、私語飲食全て禁止の三役発表。「平成5年：アレ?」メガネをはずして、令和5年3月エリート、ノートを見てもこのていたらく：マイッタね。(笑)校長鈴木真弓、教頭横山忠志、用務員鈴木計芳。校長と教頭はちっちゃな文化展のつながり。校長と用務員は鈴木つながり：です。ハイ。現役3役と次回3役との引継ぎはゲンコツタッチで。「ありがと」「よ

ろしくね」。3時少し前だったが、みんな片づけで閉校。なごり惜しんで外で立ち話しの人もいて。今回も無事開催できて良かった。ありがとう。

第118回めだかの学校の職員会議を、1月14日(土)10時から豊岡東交流センターで開く。出席者の鈴木真弓校長、鈴木計芳用務員、松本芳廣、石野省三、中村明男、伊藤英雄、服部守孝、鈴木正士、榊原幸雄のメダカ生9人。第118回のテーマと授業について話し合う。今年は「うさぎ年」で、挑戦や跳躍など前向きな内容の年賀状も多い。そんなところから：先生については溝口久、草地博昭、太田康雄、伊藤英雄、松本芳廣、音楽など色々であるが、溝口メダカは20分では無理だろうから、9月の特別授業では?。草地メダカと太田メダカの対談は?。最終的には松本芳廣メダカの社会「百均の道具でソバを打つ」伊藤英雄メダカの理科で「ある農のある風景」30分ずつに決める。今回のテーマ「うさぎ年」に合わせて、「ホップ ステップ おつとと」に。『と』は、幼児語のおつとと。漢字の「兎」は、うさぎ。一番身近な、いや、危なかったの、おつとと。跳躍もほどほどに。年をとると子どもに戻ると言うしね(笑)。今回もこんな調子で決まりました。



(事務局 バラメダカ)

■第30期の受付をしています。第30期は、令和4年9月1日から令和5年8月31日までです。まだ済ませていない生徒は済ませてね。自主退学にならないように。

■今回も遅れました。ごめんなさい。石野省三メダカ。田村進治メダカ、秋山勝則メダカ、伊藤英雄メダカ、村松達雄メダカ、埋田千聡メダカ、大島たまよメダカ、水島加寿代メダカ、生原稿のメール打ちありがとう!。まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送のお手伝い、榊原明美さんいつもありがとう。今回、横山忠志メダカが第117回の写真を沢山撮つて下さり、提供してくれました。

■今年は「うさぎ年」楽しい年賀状ありがとうございました。おかげ様で大変でしたが8頁建てにすることができました。次回の発行は、令和5年5月1日予定。締切4月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・年賀状・FAX・LINE・FBで。メールの方は、《navun_f100@gmail.com》 間瀬亮太090・5009・0986です。(メールの方は割付の関係もあるので「報告」) ※メールの調子が悪く送り先メールが変更となりました。前回のアドレスも使えますがご注意ください。

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地20 榊原幸雄方 TEL 0539-62-6691 (FAX 同じ)
 ※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 0538-89-7730 開校日の午後4時以降のみ使用可。携帯 080-1612-9130

